

酒々井の歩み

明治22年、16の町村が合併して酒々井町が誕生しました。以来、一度も合併することなく、「日本で一番古い町」としての歩みを続けています。交通の要衝であるという地域特性は今も変わらず、鉄道や東関東自動車道などの交通インフラの整備とともに、まちは発展し続けています。

撮影 川島俊彦氏



すいか割りをする子どもたち



勝蔵院脇にあった酒々井高等学校(明治40年)

明治22年	酒々井町誕生(最初の役場は下宿の麻賀多神社前)
明治30年	成田鉄道佐倉〜成田間開通、酒々井駅開設 総武鉄道佐倉〜銚子間開通
明治41年	酒々井尋常高等小学校開校
大正3年	南酒々井駅開設
大正5年	町に電灯がつく
大正15年	京成電鉄成田線開通、京成酒々井駅・宗吾参道駅開設
昭和4年	町に電話が開通
昭和22年	酒々井中学校開校
昭和26年	町国保診療所開設
昭和32年	有線放送開始
昭和40年	町章制定
昭和43年	町営水道が通水開始
昭和46年	町立中央保育園開園
昭和47年	現役場庁舎「中央台4丁目」に完成
昭和49年	東関東自動車道開通 町公共下水道供用開始
昭和53年	東酒々井団地入居開始
昭和54年	酒々井ちびっこ天国開園 ※平成29年7月から休園 中央台団地入居開始
昭和55年	酒々井中学校「尾上」に新築移転 私立東京学館高等学校開校 町民歌・しすい音頭発表 国道296号バイパス開通



中川の渡船(昭和40年頃)



旧京成酒々井駅



酒々井小学校運動会のアーチ作り(大正10年頃)



ちびっこ天国開園(昭和49年)
※平成29年7月から休園



ボンネット型の路線バス



子育て支援センター あいあいの開所式(平成30年)



総合公園野球場完成(昭和63年)



役場屋上から見た、造成中の中央台団地(昭和50年頃)

昭和55年	中央公民館完成
昭和57年	総合公園テニスコート完成 大室台小学校開校
昭和58年	国道51号バイパス開通 町立岩橋保育園開園
昭和59年	学校給食センター完成 保健センター完成
昭和62年	酒々井リサイクル文化センター完成 生涯生活センター完成
昭和63年	酒々井コミュニティプラザ完成
平成4年	総合公園野球場完成 しすい・ハーブガーデン開園
平成5年	尾上浄水場完成 防災行政無線が稼働
平成10年	本佐倉城跡が国指定史跡に指定
平成12年	東酒々井第一土地区画整理組合造成地(ふじき野)入居開始
平成13年	字の変更により「ふじき野」が誕生
平成14年	ケーブルテレビ放送開始
平成15年	プリミエール酒々井開設
平成17年	佐倉市との合併の是非を問う住民投票実施・自立の道を選択
平成20年	駅前交流センター開設
平成24年	町マスコットキャラクターが「井戸っこ(しすいちゃん)」に決定
平成25年	酒々井インターチェンジ開通
平成30年	酒々井プレミアム・アウトレットオープン
令和元年	酒々井町子育て支援センター あいあい開設 まるとしすい開設
令和3年	墨古沢遺跡が国指定史跡に指定
令和4年	国史跡本佐倉城跡案内所開設 げんき館開設
令和6年	筋吉五郎家が国登録有形文化財に登録 町制施行135周年



工事中の国道51号バイパス(昭和55年)



国史跡本佐倉城跡案内所の開所式(令和3年)



新たな街区ふじき野が誕生(平成13年)



「プリミエール酒々井」オープン(平成15年)



現酒々井小学校の敷地にあった旧酒々井中学校

